

「熊本市政を考える市民のつどい」

医療・福祉の負担軽減とサービスの拡充、子育て支援こそ市民の願い

7月21日「熊本市政を考える市民のつどい」(主催:熊本市をよくする市民の会)が開催され、医療・業者・障害者・母親・自治会など、あらゆる分野から市政に対する意見が出され、懇談が行われました。会としては、出された意見を検証し、市長選にむけた政策として反映させるとしています。

国保料の引き下げと無保険の解消を！～業者団体

私たちの中小業者団体の会員の95%が国保に加入しているが、「国保料を払いたくても払えない」という声が多く寄せられている。熊本市の場合、200万円の所得、4人家族で39万円の国保料。年金などを払うと60万円以上出ていく。これでは生活が成り立たない。払える保険料へと引き下げを。

また、保険料滞納による保険証の留め置き(事実上の無保険)は一日も早い改善が必要。広島市の秋葉市長は、保険証の留め置きの事実を知った後すぐに保険証の留め置きは0になった。市長の姿勢次第で無保険は解消できると思う。



市独自の利用料助成拡充を！～介護関係の職場から

介護サービスの利用料負担が重い。在宅でも、月3万円～5万円の利用料。民間の老人ホームでは10数万円～20万円という利用料がかかり、入りたくても入れないという方が多い。また、いざ入ろうとしても数十人の定員に何百人待ちという状況となっている。所得に低い方が介護保険から排除されていると感じる。

介護用品支給事業においても、条件が厳しく50人ほど担当を持っているが、対象者は2人ほど。サービス水準の低い熊本市に合わせるのではなく、合併前の旧町の高い水準に合わせるなど改善が必要。



障害児の通院施設の経営が厳しいとのことで、必要な人員配置ができず、親からの希望があっても体制がとれていないので対応できない。市へ要望を行っても「検討する」との回答が繰り返され、ささやかな要望でさえ市政に反映されていない。

中学生までの医療費無料化を！～母親

益城町は、中学校卒業まで子どもの医療費は無料。また、町長の公約にも給食費の無料化があり、子育て世代への支援が手厚くなっている。

熊本市も、「子育てしやすいまち」との目標を掲げているが、実態が伴っていない。子育てしやすいと実感できる施策を。



【控え室から】 高校野球と私の原点

なすまどか

私は毎年、高校野球の試合をみに、藤崎台球場に足を運びます。今年も、一試合だけです。時間が経つにつれ、試合を観戦しました。

高校野球をみることで自分が好きなのですが、それ以外にも、自分が高校3年間を野球に打ち込み、そこで学んだことを忘れていないか、自らを振り返りたいという思いがあるからです。

一人ひとりの球児の3年間が、小さな白球をめぐるプレーに集中します。2時間足らずの試合のなかで、私の高校時代の思い出が次々にあらわれ、懐かしい思いとあわせ当時の仲間たちの顔が浮かんできました。

一試合でも長く仲間と野球をしたいとは思いは全ての球児の願いです。試合が終わる最後のプレーの時も、肩を落としたり泣き崩れる選手に駆け寄り仲間の姿や試合後に相手をたえあう姿などに胸を熱くしました。

仲間のことや困難に立ち向かう姿勢など改めて教えてくれ、明日への元気をくれた球児に感謝をしています。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 719

2010年8月1日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

下関市動物愛護管理センター(動物ふれ愛ランド下関)視察報告

熊本市「殺処分ゼロ」取り組みの素晴らしさ再認識！

7月23日、日本共産党市議団で、昨年4月1日新築の下関市動物愛護管理センターの視察を行いました。

新しい愛護棟・管理棟、ふれあいサークルがありました。施設面では、明るく、空調も整い、素晴らしいものでした。

世界初、人用吸入麻酔リサイクルシステム

ソフト面でも、殺処分方法に、人用の吸入麻酔リサイクルシステムを世界ではじめて採用するなど職員の皆さんの苦勞がしのばれました。また、ふれあい教室やしつけ教室、学校等へ出かけての「命の教室」や殺処分数ゼロを目指して、「犬・ねこの譲渡会」を年12回から今年は40回にするなど熊本市との人事交流の成果が活かされていました。



ふれ愛ランド所長・スタッフと益田・上野・那須各議員

犬・猫の殺処分数では、右表の通り、去年は、犬 278 頭(ねこ 1502 匹)でした。熊本市での「殺処分ゼロ」を目指す動物愛護推進員や市民ボランティアの皆さんと職員との共同の取り組みの素晴らしさを再認識しました。

動物ふれ愛ランド下関の概要図



テレビ放映など全国注目の

熊本動物愛護センターの改修を！！

熊本市の動物愛護センターの「殺処分ゼロ」を目指す取り組みが、テレビの全国放送や新聞でも報道されるなど、その取り組みが注目されています。ところが、施設面では、老朽化が進み、現場からも、議会の一般質問でも、多くの会派が施設改修の要望が出されています。

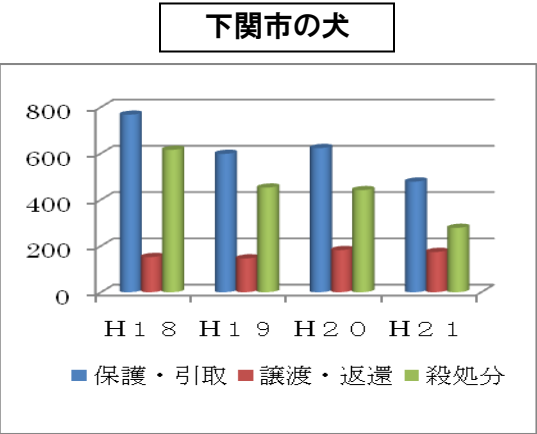
下関市の同じ施設を視察し、約3億円あれば、施設を改修できることが分かりました。

幸山市長は、新年度予算で 2 億円の大型観光施設のエレベーターと通路建設予算を提案しました。

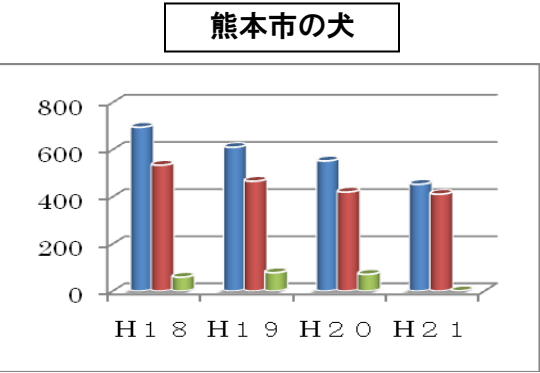
日本共産党は、シャトルバスの運行計画もあり、「ムダ使い」と指摘。他会派からも反対の声が出され、多数で予算が削除されました。

今度は、「いのちの大切さ」を学ぶ「動物愛護センターの新設」を、党派を超えて実現したいものです。

下関市と熊本市の犬の保護・引取、譲渡・返還・殺処分の比較表
熊本市は、譲渡・返還数が多く、犬の殺処分数が09年度は1頭でした。



下関市の犬			
	保護・引取	譲渡・返還	殺処分
H18	767	152	615
H19	598	146	452
H20	623	182	441
H21	478	174	278



熊本市の犬			
	保護・引取	譲渡・返還	殺処分
H18	695	534	59
H19	610	466	78
H20	552	420	71
H21	453	411	1